

整備効果①: 周辺道路の混雑が緩和

開通区間に並行する国道129号や(主)相模原茅ヶ崎線の大型車交通量が約1~2割減少し、渋滞が緩和。

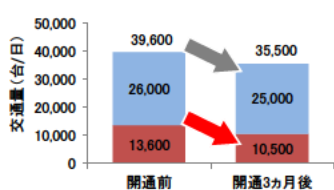
- ・ 周辺的一般道を利用する企業からは、「渋滞が緩和している」との声を頂いています。
- ・ 開通区間に並行する国道129号船子北谷交差点では、開通前に比べ、大型車交通量が約23%減少し、最大渋滞長が約290m減少。金田交差点では、大型車交通量が約9%減少し、最大渋滞長が約500m減少。

圏央道の開通前後における一般道路の交通量と渋滞長の変化

国道129号 船子北交差点

大型車は約23%減少(3,100台/日)

交通量の変化



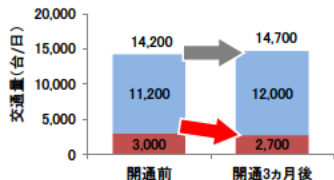
最大渋滞長の変化



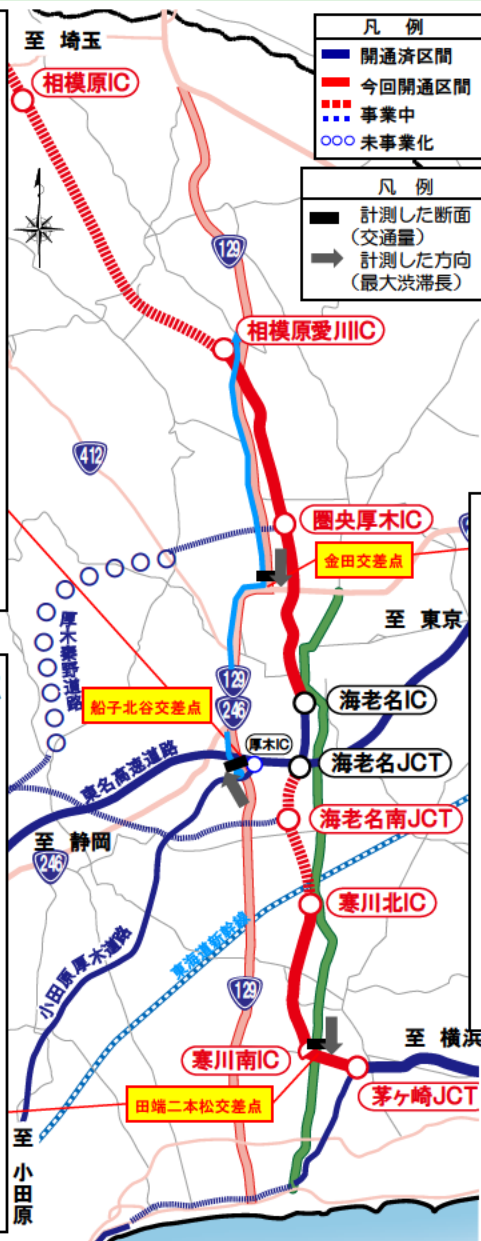
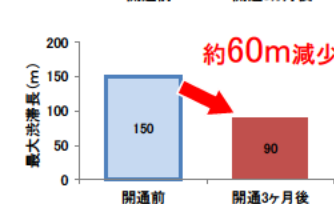
(主) 相模原茅ヶ崎線 田端二本松交差点

大型車は約10%減少(300台/日)

交通量の変化



最大渋滞長の変化



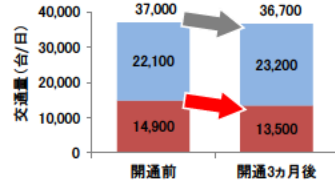
物流企業の声

内陸工業団地から金田交差点までの国道129号の渋滞が緩和している。
出典：企業・商工会等ヒアリング調査（平成25年7月～8月実施）

国道129号 金田交差点

大型車は約9%減少(1,400台/日)

交通量の変化



最大渋滞長の変化



工業団地組合の声

県道42号線の相模川渡河部の座架依橋の渋滞が、開通後はほぼ解消した。
出典：企業・商工会等ヒアリング調査（平成25年7月～8月実施）

出典：交通量；交通量調査結果より断面（双方向）の合計を算出。

最大渋滞長；渋滞長調査結果より該当する方向の最大値を算出。

なお、最大渋滞長の数値は10m単位で丸めたものである。

調査日：

開通前 平成25年2月19日（火）

開通3ヵ月後 平成25年7月16日（火）

整備効果②：地域活性化への支援(物流、観光・レジャー)

利用者のほかにも、物流会社からも喜びの声をいただいています。

- 通勤や観光などの一般利用者からは、「移動時間が短くなった」との声を多数いただき、効果を実感して頂いています。(相模原愛川IC周辺～厚木IC間で約20分短縮)。
- 物流企业からは、定時性の確保による安定的な配送が可能になったとの声もあり、企業活動にも圏央道が貢献。
- 今回の開通区間の利用により、移動時間が短縮され、ドライバーの負担軽減などが図られ、業務活動や観光・レジャーの利便性向上につながっています。

圏央道沿線の企業や商工会等の声

■相模原愛川ICに近接する内陸工業団地から厚木ICを利用する場合

物流企業の声



圏央道を利用することにより、移動時間が読めることが最大のメリット。これにより、安定したダイヤを組むことが可能となり、朝の拠点から各店舗への配送、夕方の各店舗から拠点への配送などにおいて、**約20分の短縮**が図られている。

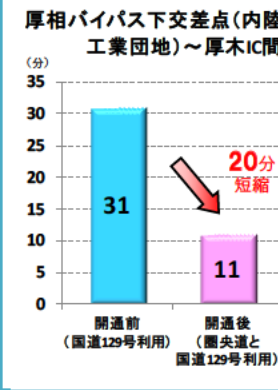
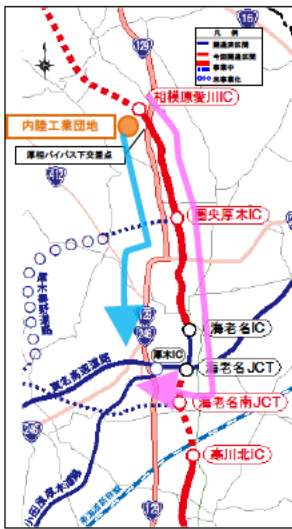
出典：企業・商工会等ヒアリング調査(平成25年7月～8月実施)

商工会の声



開通区間を使うと、横浜方面や小田原方面の**移動時間の短縮**は実感できる。

出典：企業・商工会等ヒアリング調査(平成25年7月～8月実施)

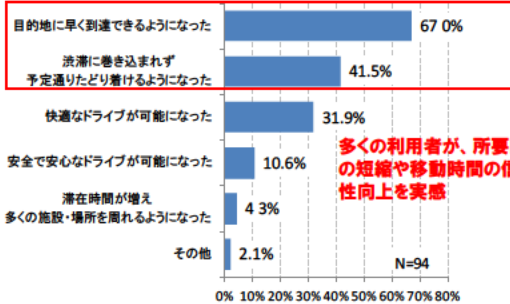


出典：(開通前) 国道129号：H25.2月平日8時台の民間プローブデータより。
(開通後) 国道129号：H25.7月平日8時台の民間プローブデータより。
圏央道については、80km/hとして移動時間を算出。



一般利用者の声

■開通区間の利用者が実感されている効果(複数回答有)



多くの利用者が、所要時間の短縮や移動時間の信頼性向上を実感



埼玉県桶川市から東伊豆方面へ年4回ほど帰省しますが、今回の開通により、大変便利になりました。

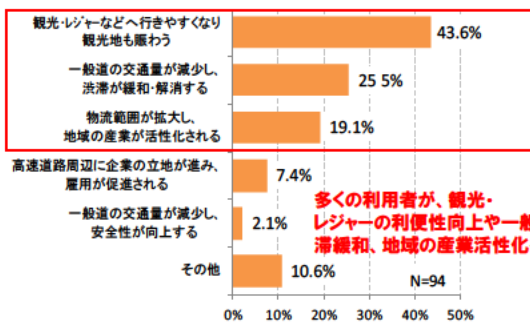


厚木から相模原へ20分～30分早く着くようになりました。



現場に早く着けるようになり、客先にも良い対応が出来るようになりました。

■圏央道に対する期待・ご意見(複数回答有)



多くの利用者が、観光・レジャーの利便性向上や一般道の渋滞緩和、地域の産業活性化を期待



今は、未開通区間の高尾山IC～相模原愛川IC間を、一般道を利用するしかないので、早期の全線開通にとっても期待しています。



一般道や首都高を経由せずに遠出出来るようになるので全通に期待する。利用頻度が増えると思う。



高尾山ICまで繋がれば、自宅のあきる野と実家の茅ヶ崎の往復に便利。

出典：厚木PA利用者聞き取り調査(平成25年7月実施)

整備効果③：企業立地への貢献

圏央道の開通に伴い、沿線周辺に物流施設が相次いでオープン。

- ・今回の開通区間の沿線周辺では、新規物流施設や新たな機能を有する物流施設が操業を開始。
- ・圏央道の整備と土地区画整理事業を見据えた大型商業施設の立地も予定。
- ・未開通区間の整備による中央道、関越道との連絡にも期待が寄せられています。

平成25年度に開業する主な物流施設



商工会の声

沿線に物流企業の進出や店舗の出店がみられる。

出典：企業・商工会等ヒアリング調査（平成25年7月～8月実施）



海老名エリア周辺の商業施設立地予定企業の声

圏央道の整備と土地区画整理事業を踏まえ、海老名エリアに大型商業施設の立地を予定しています。

出典：企業へのヒアリング調査（平成25年10月実施）



相模原愛川IC周辺の物流企業の声

圏央道の整備をらんで、相模原愛川IC近くに物流ターミナルを立地しました。

相模原愛川IC～高尾山IC間の開通により、中央自動車道や関越自動車道にも接続し、広域でのサービス展開が可能になります。

出典：物流企業へのヒアリング調査（平成25年7月～8月実施）

相模原愛川IC周辺

■ヤマト運輸(株)厚木ゲートウェイ

- ・平成25年8月竣工
- ・延床面積：約9万㎡
- ・物流のスピードと工程の短縮を革新的に進化させる総合物流ターミナル



写真出典：ヤマト運輸(株) 厚木主管支店

相模原愛川IC周辺

■GLP厚木

- ・平成25年12月竣工予定
- ・延床面積：約10.7万㎡
- ・防震装置やバックアップ電源を導入し、顧客の事業継続性を確保



写真出典：グローバル・ロジスティック・プロパティーズ(株)

圏央厚木IC・海老名IC周辺

■厚木金田物流センター

- ・平成25年7月竣工
- ・延床面積：約2.7万㎡
- ・周辺環境に調和した顧客ニーズに応える規模、機能を備える倉庫施設



写真出典：サン インターネット(株)



相模原愛川IC周辺

■ロジポート相模原

- ・平成25年8月竣工
- ・延床面積：約21.0万㎡
- ・マルチテナント型物流倉庫



写真出典：ラサール不動産投資顧問(株) 三菱地所(株)

圏央厚木IC周辺

■日本レコードセンター・厚木三田DC

- ・平成25年4月竣工
- ・延床面積：約4.8万㎡
- ・音楽や映像産業向けにCDやDVDなどのパッケージソフトの物流



写真出典：日本レコードセンター(株)

厚木IC周辺

■ファッション・アパレルロジスティックセンター

- ・平成25年5月竣工
- ・延床面積：約1.7万㎡
- ・「ファッション＆アパレル物流サービス」の重要拠点



写真出典：鴻池運輸(株)関東支店 厚木流通センター営業所

※出典：「インベスト神奈川」及び「インベスト神奈川2ndステップ」の活用による立地企業。「インベスト神奈川2ndステップ」による立地企業一覧より作成（平成25年7月1日時点）。神奈川県の「インベスト神奈川」とは、企業立地を積極的に支援（低利融資、減税措置等）する制度。